

加古川水系流域治水プロジェクトを策定

R3.3.8

～「第5回 加古川流域治水協議会」を開催しました。～

－姫路河川国道事務所－

姫路河川国道事務所では、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」へ転換し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していくため、加古川流域治水協議会を設置し、加古川流域治水プロジェクトの策定に向けた議論を進めています。第5回目となる今回の協議会では、加古川水系流域治水プロジェクトの策定に向けた議論を行いました。今後は、対策の実施状況のフォローアップを行いながら、関係者間で各種対策を計画的に推進していきます。

概要

- 開催日時：令和3年3月8日（月）10:00～11:00
- 場所：WEB会議システム
- 参加者：小野市長、加東市長、高砂市長、稲美町長(代理)、加古川市長(代理)、加西市長(代理)、神戸市長(代理)、三田市長(代理)、多可町長(代理)、丹波市長(代理)、丹波篠山市長(代理)、西脇市長(代理)、播磨町長(代理)、三木市長(代理)、兵庫県(代理)、近畿農政局(代理)、兵庫県森林管理署、神戸気象台、神戸水源林整備事務所、近畿地方環境事務所（オブザーバー）、姫路河川国道事務所
- 議事：(1) 規約変更について
(2) 加古川水系流域治水プロジェクト（案）について
(3) 今後の予定について



協議会の様子

WEB会議の様子



蓬菜 小野市長



安田 加東市長



都倉 高砂市長



河野 兵庫県
総合治水課副課長



藤本 神戸地方気象台長



石上 林野庁
兵庫森林管理署長



鈴木 森林整備センター
神戸水源林整備事務所長



磯部 姫路河川国道
事務所長

加古川水系流域治水プロジェクト案概要



令和元年東日本台風において、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、加古川水系においても、約6,000箇所以上あるため池の治水活用や利水ダム等(11ダム)の活用により、洪水の流出抑制を図るとともに、被害軽減のための避難等の対策を含む事前防災対策にあらゆる関係者が連携して取り組み、国管理区間においては、戦後最大規模洪水である平成16年台風23号洪水と同規模の洪水に対し、浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

【特徴的な取組】



呑吐ダム(農林水産省近畿農政局)

<利水ダム治水活用>近畿農政局、兵庫県、小野市、加東市、丹波篠山市



地域防災リーダーの会と連携した防災講座の実施(小野市)



AI等を活用した防災情報の構築
浸水把握システム構築(加古川市)



いなみのため池群(稲美町)

<ため池の治水活用>近畿農政局、兵庫県、全11市3町



陸上自衛隊等と連携した災害対応訓練(加東市)



新庁舎建設に伴う敷地の高上げ、電気設備の高所配置等(高砂市)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211

